

飛躍

HIYAKU

第435号



東海大学附属高輪台高等学校・中等部 学校報

●発行日/2023年12月1日

●発行者/東海大学附属高輪台高等学校・中等部 校長・片桐知己治

「知性と品性、そして感性を」

若き日に汝の思想を培え

Cultivate your thoughts in your early days

若き日に汝の体躯を養え

Nurture your body in your early days

若き日に汝の智能を磨け

Develop your intellect in your early days

若き日に汝の希望を星につなげ Aim your hopes towards the stars in your early days

TOP*NEWS

2024年度東海大学附属学校推薦型選抜 428名が合格 おめでとう!

2024年度東海大学附属学校推薦型選抜428名が合格

東海大学では、社会的実践力を有した人材の育成を教育理念としており、この理念を実現する具体的な教育施策として、「自ら考える力」「集い力」「挑み力」「成し遂げ力」の4つの力の育成を教育目標に掲げています。この4つの力を身につけるために、特色あるカリキュラムと教育システムを用意しています。

ご存知の通り、本学は23学部62学科・専攻をもつ全国規模のスケールメリットを生かして、来年度も多くのキャンパスに本校の3年生が進学を予定しています。

さて、2023年12月1日(金)に東海大学附属学校推薦型選抜の合格発表がありました。これで、4月の学園基礎学力定着度試験から始まり、児童教育学科、芸術学科、医学科、看護学科、航空操縦学専攻の適性審査を経て、11月の学園高大連携総合試験ならびに小論文試験などすべての試験が終了し、半年強にわたった一連の附属学校推薦型選抜も終了しました。2024年度は428名の東海大学関係への進学が決定し、これは3年生全体の約85%に相当します。

合格した生徒は、大学指定の入学前学習に取り組みつつ、入学までに各自で必要な学力を付けておくようにしてください。

右に2024年度の合格者の状況を紹介します。



●東海大学進学者

合格先	合格者数
国際学部	25名
経営学部	32名
観光学部	29名
情報通信学部	27名
政治経済学部	31名
文学部	23名
文化社会学部	33名
法学部	28名
教養学部	12名
児童教育学部	9名
体育学部	18名
健康学部	17名
理学部	7名
情報理工学部	16名
建築都市学部	28名
工学部	53名
医学部	13名
人文学部	1名
海洋学部	13名
文理融合学部	3名
農学部	2名
国際文化学部	1名
生物学部	3名

●東海大学短期大学進学者

合格先	合格者数
ハワイ東海インターナショナルカレッジ	4名

部・同好会活動報告

中等部
吹奏楽部

第23回東日本学校吹奏楽大会 金賞受賞!

最高の仲間とつかんだ金賞

3年B組 高橋 麻椰

私たち中等部吹奏楽部は10月7日の第23回東日本学校吹奏楽大会に東京都代表として出場し、金賞をいただくことができました。部員一同、金賞を受賞することを目標に、日々練習を重ねてきました。

今年の東日本学校吹奏楽大会は、山梨県で行われました。私たちの代では東京のコンサートホール以外で演奏するのが初めてだったため、本番前はいつも以上に緊張と不安が広がりました。しかし、演奏が始まるとその不安は忘れるほど、全員の気持ちと音が重なり合い、楽しんで演奏をすることができました。結果発表の瞬間、心臓が今にも口から出てきそうなくらいドキドキしました。結果はゴールド金賞。嬉しさと安堵で涙があふれ出ました。

3年生にとっては最後のコンクールで最高の仲間たちとともに、2年連続金賞という最高の結果を残せたことを誇りに思います。



高校
陸上競技部

U18 陸上競技大会 第4位 関東高校新人大会 優勝! (女子三段跳)

感謝

2年1組 山田 南

私は、10月20日に愛媛県で行われたU18 陸上競技大会と、10月22日に埼玉県で行われた関東高校新人大会に出場しました。私は今年の夏、インターハイに出場することができませんでしたが、同じ陸上競技部の先輩方の付き添いとしてインターハイの現地に行くことができました。そこでは間近で観戦することもできてたくさんのお話を学び、より目標への思いが強くなりました。もちろん、今年のインターハイに出場できなかったことはとても悔しかったのですが、その経験を自分の中でプラスに変え、今回は全国4位と関東1位という結果を残すことができました。普段お世話になっている先生方や保護者の方々の支えのおかげだと感じました。たくさんのお話をありがとうございました。来年は、福岡インターハイで恩師である私の父に恩返しができるような結果を出したいです。



柔道部

関東高等学校選抜柔道大会 出場!

関東高等学校選抜柔道大会を終えて

2年9組 菅原 想来

10月21日に開催された関東大会に出場させていただきました。結果は3回戦で僅差負けと残念な結果となってしまいました。この結果をしっかり受け止め、応援してくれた仲間、試合で万全に戦えるよう体に気を遣ってくれた先生方や両親に感謝し、これから始まる高校生活最後の試合に向け、気持ちを切り替えていこうと思います。そして先輩方の背中を追えるよう努力を重ねていきます。最後に柔道部一同、個人戦、団体戦共に優勝を目指しますので、引き続き応援をよろしくお願いいたします。



高校
吹奏楽部

第71回全日本吹奏楽コンクール 金賞受賞!

自分たちの夢

3年7組 相馬 理吏亜

吹奏楽部は、10月22日に行われた全日本吹奏楽コンクールにおいて金賞を受賞することができました。自分たちの夢であったものが現実で叶えることができ、本当に嬉しかったです。たくさんつらいことや苦しいこともありましたが、本番では朝一番で煌めきの高輪台サウンドを会場中に響かせる、自分たちの想いを審査員に届けることができました。また本番を迎えるにあたって片桐校長先生をはじめとする、高輪台の先生方、講師の先生方、保護者の皆様、クラスの友達や部員みんなの応援、支援があっただけに賞なので、感謝の気持ちでいっぱいです。これからも集大成の定期演奏会に向けて頑張っていきます。引き続き、応援をよろしくお願いいたします。



部・同好会活動報告

高校
吹奏楽部

第29回日本管楽合奏コンテスト 全国大会
最優秀グランプリ賞 文部科学大臣賞受賞!

日本管楽合奏コンテストを終えて

3年8組 稲垣 楓花

私たち吹奏楽部は、11月5日に行われた日本管楽合奏コンテストにおいて、最優秀グランプリ賞・文部科学大臣賞を受賞しました。このような結果が得られたのは、校長先生をはじめ、教職員の方々や仲間など、たくさんの方々をサポートしてくださったおかげです。本当にありがとうございました。大変なこともありましたが、本番では練習の成果を発揮し、感動する演奏を届けられたと思っています。この経験を、この先の大会やコンサートにも活かしていきたいと思います。たくさんの応援、そしてサポートをありがとうございました。



#BAN闇バイト「私の誓いプロジェクト」 ～闇バイト防止教室開催～



10月16日1限のL.H.R.の時間を使用し、全校生徒を対象に、高輪警察署の方と、本校の卒業生でもあり、現在、吉本興業株式会社に所属するお笑いコンビ「ライス」さんをお招きし、闇バイト防止教室が行われました。昨今、高額報酬をうたい文句として犯罪実行役を募集する「闇バイト」が社会問題になっておりますが、犯行グループのうち、いわゆる「受け子」役の低年齢化も深刻な問題となっております。高輪警察署の方と「ライス」のお二人には、闇バイトについて楽しくわかりやすく解説していただきました。

また、全体の講演後には、3年10組において、「タイムカプセル郵便」を利用した「私の誓いプロジェクト」も開催されました。犯罪に加担しない、犯罪を起こさない意識を促すよう、警察署の方からお話があり、1年後の自分に向けたメッセージを手紙にしました。



「ライス」の田所仁さん(左)と関町知弘さん(右)



3年10組の生徒 真剣に聞いています

2023年度学校運営方針

今回は、今年度の実践目標の中から、「情報化時代に即応し、自らが情報発信基地になれるよう、教職員・生徒の情報教育の推進を図る」についてご紹介いたします。

実践目標

情報化時代に即応し、自らが情報発信基地になれるよう、 教職員・生徒の情報教育の推進を図る

情報を手に入れる手段は、書籍、新聞からテレビ、ラジオへと移り変わり、現在ではインターネットが加わり、何か気になることがあれば、スマートフォンを使用して調べ、すぐにその場で必要な情報を手に入れることができます。

学校の授業においては、かつては、教科書や補助教材が学ぶ(生徒が情報を手に入れる)道具でしたが、現在ではPCを活用して多くの情報に接することにより学びを深めることができるようになりました。

本校では、BYODシステムを採用して、多くの授業で、タブレットPCを活用して、自分の考えをまとめ、グループで共有整理して、それを全体発表するなど自分の考えを発信する場面を多く取り入れた授業を展開しています。学校全体の取り組みとして、高校1年生の「高校現代文明論」、2年生、3年生で実施する「総合的な探究の時間」の授業において自分でテーマを設定して、情報を集め、調査・考察して、それらをまとめ発表することを通して、情報を活用する力、発信する力の育成に力を入れています。

また、現在は、多くの団体や個人がインターネットを活用して情報を発信しており、就職や進学についてもインターネットを活用する時代です。子どもたちは、このような社会で生活していくために、情報を有効に活用する手段を学ぶ必要があり、ICT機器(PCやスマートフォン)の使用は避けることができません。その一方で、インターネットは使い方を誤ると他人を傷つけたり、自分の将来に取り返しのつかない傷を残すこともあります。学校では、配信内容・公開範囲などに十分注意しながら、有効に活用するよう指導を行ってまいりますので、ご家庭でも指導にご協力をお願いいたします。

建学記念小論文表彰

テーマ 「争いのない社会にしていけるには、何が必要か」

2年9組 金谷 侑真

1年3組 谷山 紗夏

本学園では、創立者・松前重義が掲げた建学の理想を未来へ継承・発展させていく人材の育成をはかるために、作文(中等部:2,000～3,000字)・小論文(高等学校:3,000～4,000字)を募集しています。今年度は「争いのない社会にしていけるには、何が必要か」というテーマについて、自らの体験だけでなく、資料的な裏付けを含む内容の小論文を完成させた2名の生徒が、学校法人東海大学松前重義記念基金より奨学金(5万円相当の図書カード)が給付されました。



SSH活動報告

SSH成果報告会を開催／核融合科学研究所オープンキャンパスに参加

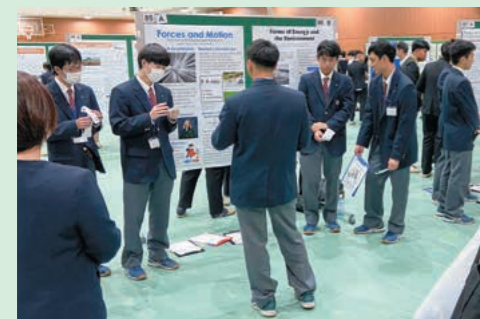
10月28日(土)にタイ王国から3校、国内からSSH指定校4校をお招きして、SSH成果報告会を開催しました。午前中は1年10組の代表生徒によるディベートと、3年10組の代表生徒による英語口頭発表を行いました。午後のポスターセッションでは、2・3年SSHクラス全員と中等部3年の代表生徒が英語で、3年普通クラス代表生徒が日本語でそれぞれの活動成果を発表しました。また、同じ日に3年10組の2名が核融合科学研究所(岐阜県土岐市)オープンキャンパスの高校生科学研究室に参加し、発表を行いました。

初めての経験

1年10組 野邊 音希

今回、SSH成果報告会で医薬品の特許に関するディベートをさせていただいて、とても良い経験をする事ができました。ディベートの試合に向けて、調べたり話し合ったりしたことで、改めて医薬品や医薬品に関する日本の政策などについて考えることができました。また、新たな疑問や自分の意見を持つこともできました。

ディベートを通して、相手側の意見を聞き、それに対して反論や疑問を持ち、限られた時間の中で自分の意見をまとめて相手に伝えることの難しさを実感することができました。この経験を通して、もっと自分の関心を広げていきたいと思いました。



成果報告会から学んだこと

2年10組 鈴木 作斗

私は午後のポスターセッションでアカデミックプレゼンテーションIの授業で学んだ成果を発表しました。口頭発表をしてくださった先輩方は、どなたも落ち着いて、スムーズに英語を話す姿にとっても感銘を受けました。また、ポスターセッションでは、今の英語のレベルを実感するとともに、タイの方々の英語力の高さを身にしみて感じました。海外の方との交流は新鮮でとても良い経験になりました。来年はさらに人前に立って発表する機会が多くなるので、今回の経験を活かしたいです。

SSH成果報告会 プログラム

◆「高校現代文明論」公開授業(ディベート)

論 題：日本は医薬品等の特許権の存続期間について、特許期間の侵食を理由とした期間延長の限度(5年)を撤廃すべきである。是か非か。

結 果：第1会場 **勝利** 兵庫県立豊岡(肯定側) - 本校Aチーム(否定側)
第2会場 新潟県立新発田(肯定側) - 本校Bチーム(否定側) **勝利**

◆英語口頭発表会

参加校：新潟県立新発田、山形県立東桜学館、兵庫県立豊岡、パヤオ大学附属(タイ王国)、マハーサーラカム大学附属(同)、パパヨム・ピッタヤコム(同)、本校

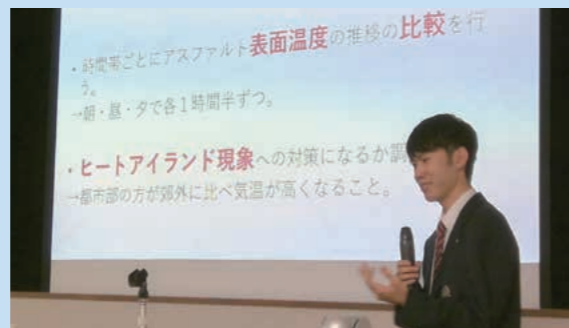
◆ポスター発表会

参加校：新潟県立新発田、兵庫県立豊岡、東京都立科学技術、パヤオ大学附属(タイ王国)、マハーサーラカム大学附属(同)、パパヨム・ピッタヤコム(同)、本校

今回の研究発表の経験

3年10組 野中 憲吾

私は「打ち水によるアスファルト表面温度の推移」というテーマで口頭発表とポスター発表を行いました。今回の経験を通して、自身の研究を発表し、意見交換を行うことは、研究に対する理解をより深められるのみならず、問題点や改善点の発見につながるため、とても重要であるということを知りました。また研究を深めるきっかけを得られたため、これらの経験を、今後の研究や発表に活かしていきたいです。



第72回はたらく消防の写生会授賞式

中等部1、2年生が、美術の授業にて東京消防庁主催の「第72回はたらく消防の写生会」へ参加しました。例年、1年生のみ参加しているコンクールですが、今年度は2年生も参加しました。

1年生が挑戦した写生画の部は、消防隊員や消防車両などを写生したり、消防車両の画像を図画する部門です。2年生が挑戦したポスターの部は、火災予防や地震対策などについての考えや意見をポスターに表現する部門です。

1年生6名、2年生6名が入賞し、10月26日に本校校長室にて高輪消防署 池村予防課長より表彰していただきました。

部門	受賞	学年	氏名
写生画の部	優秀賞 (消防総監賞)	中1	長尾 泰河
			田中 穂夏
	入選 (消防署長賞)		小安 正笑
	山守 うらら		
	赤松 蕾		
ポスターの部	優秀賞 (消防総監賞)	中2	杉浦 大和
			石井 健太
	和氣 咲綾		
	入選 (消防署長賞)		小川 葵衣里
	新井 たえ		
	鶴岡 沙友里		
福元 伶奈			



上段左から 石井 健太君、和氣 咲綾さん、小川 葵衣里さん、小安 正笑君、新井 たえさん、鶴岡 沙友里さん、福元 伶奈さん
下段左から 高輪消防署 池村予防課長、杉浦 大和君、赤松 蕾さん、長尾 泰河君、田中 穂夏さん、山守 うららさん

★ 写生画の部 優秀賞(消防総監賞) ★



長尾泰河君の作品



田中穂夏さんの作品

★ ポスターの部 優秀賞(消防総監賞) ★



石井健太君の作品



和氣咲綾さんの作品

学年だより 中1



～建学祭を終えて～

10月7日、8日に第59回建学祭が行われました。中等部1年生は、いくつかのグループに分かれているいろいろな職業を調べ、パワーポイントとともに発表しました。初めて多くの人前で発表する機会を持ち、大変緊張もしましたが、立派にやり遂げることができました。



A組

B組

初めての建学祭

大野 健真

今回の建学祭で、私たちは接客業である「レストランスタッフ」について発表をしました。最初はとても緊張してしまい、うまく説明できませんでした。そのため、あまり丁寧な対応ができませんでした。中盤からは緊張もほぐれ、堂々と発表できたので、楽しそうに聞いてくれるお客さんを見て嬉しかったです。終了近くはお客さんがいなかったので、呼び込みをしてみました。あまり人が来なかったため、次回はお客さんが自分から足を運んでくれるような、魅力的な発表をしたいと思いました。今回の発表を通して一番心に残ったことは、実際に接客することでお客さんが喜んでくれたことです。そのため、接客業に興味を持ち、将来の目標が少し見えてきた気がしました。

楽しかった建学祭

佐藤 勇斗

私のグループは、「パイロット」と「電車の運転手」について発表しました。各職業についての仕事内容、給料、どんな過程を経てその仕事に就けるのかなど分けて夏休み中に調べました。また、どのようなクイズを出せば来てくださったお客さんが楽しめるかを考えながら準備してきました。建学祭当日は、思っていたよりたくさんお客さんが来てくださり、忙しかった半面、自分たちも楽しむことができました。クイズを出した時に、答えを出すタイミングが少し難しかったです。また、私たちが調べた内容を知らなかった人も意外に多く、「へえ、そうなんだ、知らなかったよ。」と言ってもらえて、嬉しくなりました。グループの中で協力し合いながら、うまくできた発表になったと思います。

建学祭で感じたこと

羽田 更彩

私たちのグループは「クリエイター」について発表しました。初めての建学祭ということもあり、不安な部分がたくさんありましたが、クラスメイトと協力し、最後までやり遂げることができました。発表も初めは緊張しましたが、聞きに来てくれた保護者の方がうなずいてくれたり、拍手をしてくれたり、時には質問してくださったり、自分たちの発表に興味を持って聞いてくださっていると実感でき、嬉しかったです。また、保護者の方やお客さんを楽しんでもらえるよう、「ウボンゴ」というパズルゲームを自分たちで考えて作りました。みんな楽しそうにゲームをしているのを見ると、頑張って準備してよかったなと感じることができました。来年も、お客さんが楽しめるような建学祭にしたいです。

初めての建学祭

田中 穂夏

私は今回初めて建学祭を経験しましたが、それまでは、高校のような模擬店や展示といった華やかなイメージを想像していました。それに比べ、中等部は学習発表で、お客さんも少ないだろうと思っていたのですが、想像以上にたくさんのお客さんが来てくださり、忙しくなりました。何度もお客さんに発表を繰り返すうちに、やる気と自信がどんどん湧いてきました。また、お客さんが一生懸命発表を聞き、クイズに答えてくださったことで、もっと一生懸命接客しようと思いました。高校は中等部よりも接客が忙しそうでしたが、笑顔で接客でき、みんなが楽しめるように一生懸命おもてなししている姿にとても感心しました。今回の建学祭は一致団結でき、良い経験をすることができました。

建学祭の思い出

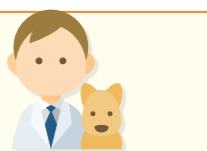
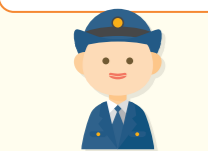
若林 龍平

今回、職業調べで「公務員」について発表しました。初めての建学祭ということでも緊張しましたが、だんだん慣れてきて2日目は緊張せずに発表できました。失敗した時もありましたが、お客さんが笑ったりせずに最後までしっかり聞いてくれたので、毎回最後までやり遂げることができました。また、誰かが部活動などでいない時は、グループで協力しながら発表しました。お客さんが思ったよりも来てくれた嬉しかったです。パワーポイントの発表に慣れていなかったため、たまに画面を切り替えるのを忘れてしまうことがありました。来年は今回の反省を生かしながら、もっとお客さんが来てくれるような工夫をしたいです。

反省と感動と

平林 里梨花

私たちのグループは、接客業について調べました。発表の時、最初は緊張して下を向くことが多かったのですが、途中から緊張がほぐれてきて、時々メモを見ながらお客さんの顔を見て話すことができました。また、接客業という職業で大事なことは、お客さんに好印象を与える接客マナーだということを知りました。しかし、自分の声質が不安定なため、人に好印象を与えられていたか不安でした。そのため、普段から意識してはっきり伝えられるようにしたいです。今回の反省点として、発表用のスライドが、時間が足りずとてもシンプルなものになってしまったことです。計画性を持ちながら、もっと集中して取り組めばよかったと思います。



丁寧に説明します



緊張しました



何度も練習しました



きちんと伝わっているかな？

学年だより 中2

建学祭 ～学年企画「東海大学の今昔物語」2日間を通して～

中等部2学年の建学祭は「東海大学の今昔物語」と題し、お客様に東海大学についてより深く知っていただくという企画でした。いろいろ調べる過程で生徒たち自身も初めて知ったこともあったようです。また今回は2回目の建学祭のため、昨年度の経験を活かし、さまざまな工夫もできたようで、生徒の満足度も高まり、来年度はさらに期待できそうです。

A組

B組

学年で主催した建学祭

火山 開登

私は建学祭で、東海大学の伝統・歴史についてのクイズを担当しました。班の友達と事前に作ったクイズの中から7問選出して、パワーポイントにまとめて発表しました。発表をする時に来てくださったお客様が、聞き取りやすく、面白いと思ってもらえるように声量に気をつけ、なるべく笑顔を意識して発表しました。そのおかげで、発表時はテレビのクイズ番組の司会者を務めているような気分でした。

1日じゃ足りない思い出

後藤 あゆ子

今回の建学祭は部活動の大会と重なり、2日目から参加しました。午前中は高校生の出し物を見ていたのですが、藍染めや扇子づくりなど、テーマの「伝」を感じて感動しました。午後は中2の当番だったのですが、準備期間は大会で参加できなかったため、その分何か貢献できることはないかと考え、一生懸命宣伝したら、列ができるほどのお客様を呼ぶことに成功しました。当番が終わった後は、模擬店でスイーツを食べるなどして、建学祭を満喫できました。

工夫と努力での学び

竹内 航平

今年は、東海大学についてのクイズを出題する企画にし、参加してくれた方には手作りのしおりを配ることにしました。このしおりは色紙にローマ字で大きくTOKAIと書き、右下にはさまざまな学部の名前を書いて作成しました。準備では各自クイズを考えたり、作ったしおりを学部ごとに分け、好きな学部のしおりを持ち帰ってもらえるように工夫したりしました。お客様が少しでも喜んでくれたら嬉しいと思います。東海大学クイズの成功は、学年のみんなの工夫や努力の成果だと思います。

緊張 ～ダンス部の発表～

澤井 ももこ

私が所属しているダンス部では2日間ダンスを披露しました。1日目は、家族や学校の友人が来てくれましたが、お客様は少なめでした。しかし2日目は、「お客さんが本当にたくさん来る」と言われていたのですが、当日を迎えるまでは内心、半信半疑でした。当日の朝いろいろな人から「今日行くね」とメッセージがあり、その中には私がとてもお世話になった卒業した先輩方、また同じ塾の友達からで、そこから私の緊張はどんどん増していきました。踊っている時の記憶がほほほいほどの緊張でした。そのような中で自分のダンスを踊りきるといって、本当にいい経験させてもらったと思っています。ありがとうございました。

努力したこと

椿 宏亮

私は建学祭の2日間でいろいろなことを努力しました。1日目は、午後に当番の仕事をしました。来校してくれた方にクイズを出したり、スタンプを押してあげたりする係でした。最初は少しミスしてしまったところがありましたが、全力でやることができました。2日目は、お客様の誘導を担当しました。丁寧な言葉遣いを心がけ、接待することができたと思います。2回目の建学祭だったので、前回の経験を活かし、みんなであまりやることができたと思います。

経験を積んだ建学祭

塩井 美桜

今回は東海大学について調べた内容をクイズ形式で発表していきたい、知ってもらおうというものでした。私の担当は大学の最新の科学技術についてでした。今回発表するにあたり、今まで知らなかった東海大学のことを自分自身も知ることができました。また、3年生の発表は、発表の仕方やスライドの質、すべてがとても興味を引くように作られていて、先輩方に強い憧れを抱きました。また先輩方のような発表ができるか自信はありませんが、今回よりもっと進歩した発表を来年は行いたいと思います。



学年だより 中3

建学祭 ～日本の伝統文化～

第59回建学祭では、日本の伝統文化に関して班ごとに調べ、発表をしました。多くの人たちに楽しんでもらえるように発表を工夫した生徒たちの様子をご覧ください。

伝統文化・武道

A組 小林 和樹

今回の建学祭は、日本の伝統文化について詳しく調べて人に伝えるという内容の出し物でした。私は剣道のことを調べる班で、剣道の歴史や構造などを調べて、実際に竹刀を使って基本技稽古法を発表しました。準備期間中、パワーポイントや原稿のちょっとしたミスや字の大きさ、内容の暗記などで大変でしたが、本番では声を出して堂々と発表することができました。私たちの班は一番初めの班だったので、発表後はさまざまなところを回ったり、教室で手伝いなどしたりしていました。いろいろなことを調べて知ることができ、とても楽しい建学祭になりました。

頑張ったこと

B組 海野 聖吏奈

私が今年の建学祭で一番頑張ったことは、発表のパワーポイントを作ったことです。文字の大きさやイラストなど、アニメーションをつけることで見ている人にできるだけわかりやすいパワーポイントを作れたと思います。他にも声の大きさや、発表に来てくれた人にあげたしおりの作成などを主に頑張りました。中等部最後の建学祭で飲食が可能になり、1・2年生の時とは全然違う建学祭ですごく楽しかったです。来年は高校生になるので、中等部での建学祭の経験を活かして頑張りたいと思います。

歌舞伎を調べて

A組 望月 創太

最後の建学祭で、僕は歌舞伎について発表しました。歌舞伎を調べようと思ったきっかけは、6月に実際に歌舞伎を見に行って、その迫力と技や仕草に興味を持ったからです。自分たちで調べてみて、歌舞伎特有の化粧である「隈取り」をより深く調べました。色で配役が決まる「隈取り」を自分たちでもやってみました。昔から日本に伝わる文化の1つである「歌舞伎」の魅力を感じられた建学祭でした。

学んだこと

B組 芹澤 優典

僕は、今回の建学祭で畳について調べ、体験を通していろいろなことを学びました。夏休みの期間に初めて畳屋さんに行き、畳の作り方や作る時に使う道具について学びました。この体験を通してインターネットで調べるだけではなく、実際の現場を自分の目で見ることで学びが深くなるのだと気づきました。僕の家にも畳がありますが、改めて身近な畳という存在に触れる機会ができたので、とても楽しく建学祭の準備を進めることができました。

中等部最後の彩り

A組 池田 祐博

僕は、今回の建学祭で、日本の伝統文化の歴史について調べました。僕はその中でも紅について調べることにしました。僕は発表するための準備で、紅餅というものを作りました。今までの建学祭では、実際に物を作って発表することがなかったので、初めての体験で、楽しく準備することができました。本番では、ミスもなく、用意した紅を、来てくれた人を楽しんでもらい、楽しく発表を聞いてもらったので、今までで一番いい建学祭にすることができました。

お客様が主人公

B組 山田 蓮太郎

私は和菓子についての発表をしました。建学祭は合唱祭や体育祭などの自分たちが主役の行事とは違い、お客様を第一に考える行事だと思いました。そのため、お客様に楽しんでもらうために景品を作ったり、面白い発表になるように工夫をしました。前回の建学祭もお客様に発表をするというものでしたが、私は本番当日、サッカーの大会で参加することができなくて、悔しい思いをしました。そのため、今回の建学祭は1・2年生の時よりも一層力を入れて臨みました。本番は発表を聞いてくれたお客様も喜んでくれたので、悔いの残らない建学祭になってよかったです。



風呂敷の便利な使い方



力を合わせた建学祭



実際に一席設けました



折り紙の折り方を丁寧に教えています



3人できれいな音を奏でました

学年だより 高1

建学祭を経験して

10月7日・8日に建学祭が行われました。初めての経験となった1学年の皆さんの感想を紹介します。

楽しいを共有できるおもてなし!

1組 北川 琉名

作品の使用例を何個かあげたり、お客さんと偏りなくコミュニケーションをとることを意識しました。その結果、お客さんに作品を気に入っていただいたり、楽しく作業していただくことができ、幸せな気持ちで建学祭を閉祭できてよかったです。

建学祭を通して

2組 小暮 海優

夏休み前から建学祭準備が始まり、2組は謎解き脱出の出展をしました。他クラスとは少し内容が異なり、来てくれたお客さんに物を作ってもらい、それを持って帰ってもらうということがないため、物でなくてもしっかりと思い出に残るような出展ができるよう頑張りました。当日はかなりの盛り上がりで、大成功でした。

モダン&イノベーション

3組 飯川 勇武

自分は吹奏楽部の活動でありクラスの仕事にかかわりませんが、空き時間に行けてよかったです。クラスでは、写真を撮影できる場所もあり、仲のいい人同士で撮ることができていたようでよかったです。もう少し店舗の工夫をしたらさらに良くなると思いました。

人と接する建学祭

4組 齊田 つむぎ

あまり人とコミュニケーションをとることが得意ではない方でしたが、来てくれる学生や子どもに接客しているのはそごまで苦でなく、楽しくやることができました。また、準備期間は友達と話しながら作業をし、仲が深まったように感じられました。

初めての建学祭

5組 井上 啓人

高校に入り初めての建学祭ということもあり、最初はどのように進んでいくのかもわかりませんでした。お客さんが来てもらいやすいように飾り付けやキャンドルの歴史について調べ、最後までやりきることができました。

来年楽しみ建学祭

6組 川崎 直人

自分は6組で学級閉鎖だったので、建学祭に参加することができませんでした。しかし他のクラスの友達から実際に行ってみた様子などを聞いたりしていました。建学祭では食べ物の売店やものづくりなどを体験することができたようなので、来年は参加したいです。

協力した初めての建学祭

7組 伊藤 苺音

私のクラスは、準備日の最初の方はまとまりがあるとは言えませんが、準備期間が経つにつれて、みんなで役割分担などをして協力することができました。当日、はじめは人が全然来ないと思っていましたが、ポップを作成したり呼びかけをしたりしたことで、多くのお客さんに来ていただけてよかったです。

協力

8組 松本 めい

準備では委員の人が中心でグループ(外壁、内装、ポスター)に分かれて、スムーズかつ短時間で終わらせられるように設定できました。また、限りがある材料でどこまでお客さんを楽しませられるか考えながら作ることができてよかったです。

建学祭の感想と振り返り

9組 岡田 一輝

全体を通じて感じたことは、思っていた以上に来校者が多いと感じました。また出店時に待ち時間を減らしてもらうために、小さい子でも簡単に作れるようなものを体験してもらえようにしたところが良かったと思います。

学んだ建学祭

10組 藤岡 深水

建学祭の準備では、しっかりと指示を出し全員が協力して作業してくれました。外観や中のデザインはとも良かったのですが、人が全然入ってこなかったのは反省点だと思います。この経験を活かして、来年の建学祭は今年よりいいものにしたいです。



学年だより 高2

建学祭 ～クラス展示紹介～

今年の建学祭のテーマに基づいて、各クラスが工夫を凝らしてさまざまな展示を行いました。各クラスの様子をぜひご覧ください。

1組 つまみ堂「つまみ細工の製作体験」

1組は日本の伝統工芸品である「つまみ細工の製作体験」を出展しました。一人ひとりが来てくださった方々に楽しく体験していただけるよう、丁寧に製作方法を教えることができました。



2組 レジン「レジンアクセサリーの製作」

2組は「レジンアクセサリーの製作」を行いました。長蛇の列ができるほどの人気となり、多くの方に楽しんでいただきました。

3組 守りたいきみのLove&Peace「お守り製作」

3組は日本人に馴染み深いお守りを、モールと刺繍糸で手作りし、思い思いのお守りを作成してもらいました。



4組 たつぽーの練り香水工房「練り香水の作成」

4組はワセリンにアロマオイルを混ぜて作る、練り香水作りの体験をしてもらいました。装飾はクラスで話し合い、アメリカンヴィンテージを意識した装飾にしました。

5組 ムラカミサンガ「レザーブレスレットの製作体験」

5組はレザーの紐でミサンガを製作しました。多くの色があり、子どもから大人まで楽しめる出展となりました。



6組 風鈴作り「コットンボールによる風鈴作り」

6組はコットンボールに鈴を取り付け、オリジナルの映える風鈴作りを行いました。色鮮やかな風鈴を製作でき、とても楽しかったです。

7組 愛の藍染め～そこに藍はあるか～「藍染した紐でミサンガ作り」

7組は藍染した刺繍糸を用いて、ミサンガ作りを行いました。自分たちで藍染をするのはとても良い経験になりました。



8組 武蔵高輪 扇舗「扇子作り」

8組は、今年の建学祭のテーマに基づいて、「扇子作り」を行いました。イラストやシールを用いてオリジナルの扇子を作っていました。

9組 キャンドル9「キャンドル作り」

9組は、和燭燭に転写シールでコラージュやアクリル絵の具で絵付けを行い、オリジナルのキャンドル作りを体験してもらいました。



10組 日本の伝統文化を使ってコースターを作ろう!「コースター作り」

10組はアイスの棒や毛糸を使って、家で使えるオリジナルコースター作りをしました。最終日の最後までコースター作りを楽しんでもらえました。

学年だより 高3

最後の建学祭

10月7日、8日に高校3年生にとって最後の建学祭が開催されました。前庭では数年ぶりに模擬店を出店することもでき、大いに盛り上がりました。展示の6クラスも最高学年として素晴らしい装飾や接客ができていました。生徒たちの感想を紹介します。

1組 三一着 古遊館

逢坂 颯真

高校最後の建学祭はインフルエンザが蔓延する中、大がかりな装飾も多く、浴衣の着付けも覚えなければならぬので、準備が大変でした。そのような中でも級長を中心にみんなで手分けして作業を進め、開店までに間に合わせる事ができました。当日も丁寧な接客をすることができて、高校生活の思い出として、とても楽しめた行事となりました。



2組 LAMPSHADE

山口 心花

2組はランプシェードを展示として行いました。授業中の2組は静かでおとなしいイメージですが、建学祭準備の時は1人ひとりが活発に動いてくれていました。今年の建学祭でクラスの団結力が発揮されて嬉しかったです。残りわずかしかの高校生活を充実したものにできるように、1つ1つの行事を全力で楽しみたいです。

3組 藍染め～あなたの愛染めませんか～

南郷 綾香

今年は模擬店が復活し、アリーナで発表を間近に見られることができるようになるなど、今までは雰囲気違う建学祭となりました。昨年までは前後半に分かれており、私はダンス部の活動でクラスの準備に参加できていませんでした。しかし、今年は参加ができ、クラスのみならず協力して作業することで、仲良く楽しい思い出を作ることができました。



4組 アゲパン

益子 新菜

高校生活最後の建学祭では、これまで実施することができなかった模擬店を出せるようになり、私たちは揚げパンを提供しました。最初で最後の模擬店ということもあり、今まで以上に準備に力を入れました。4組らしくテンションが上がるような接客をし、お客さんの印象に残る揚げパンを提供することができました。最高に良い思い出になりました。

5組 チュロス35世

石丸 海

数年ぶりの模擬店ということもあり、何もわからない状態から準備を始めました。そのため、苦労は多くりましたが、チュロスが完成し実際にお客さんが食べてくれた時は本当に感動しました。この経験は私たちにとって、とても大切なものになりました。改めて建学祭開催にあたって協力してくださった皆様、本当にありがとうございました。



6組 青木郵便局～あなたに届け～

黒田 莉穂

クラスみんなが率先して協力してくれたこと、楽しい雰囲気準備ができたことがとても印象深いです。そのおかげもあり、無事に高校生活最後の建学祭を成功させることができました。今回の建学祭を終えて、より一層クラスの絆が深まったと思います。

7組 自分だけの藍染

折橋 壱希

今年度の建学祭で私たちは藍染体験を出展しました。テーマに沿ったような題材だったと思います。私たちはテーマの中でもとりわけ「Traditional」にフォーカスしました。今回の建学祭を通して、クラスメイトとの協調性、親密性が養われました。たくさんのご来店ありがとうございました。



8組 まきちゃんの赤い糸!?

増子 愛美

最後の建学祭は、1、2年生の時よりもクオリティーの高い物ができるようにと準備に取り組んでいました。準備期間もみんな協力し、楽しく笑い合っていた時間が良い思い出の1つになりました。建学祭当日はたくさんのお客様にきていただき、頑張った価値を感じました。そして準グランプリという素晴らしい賞をいただけて嬉しかったです。

9組 ミヤタの知らないワッフルの世界

楠根 未空

建学祭での最初で最後の模擬店出店は、感染症の影響でさまざまな規制があった中でもルールを守り、工夫して取り組みました。私たちのクラスではワッフルを作りました。材料や調理器具が足りなくなるようなハプニングも起こりましたが、クラス全員が積極的に協力してくれたおかげで問題なく続けることができました。このクラスで模擬店ができてよかったです。一生の思い出です。



10組 フワフわたがし

桐敷 尚徳

私たちの代は中学3年生から、新型コロナウイルスにより今まで当たり前に行っていた学校行事や日常生活が大きく変わってしまいました。そのような中、今回の建学祭で初めて模擬店をすることができ、試作や装飾などで苦労しましたが最後は達成感が勝ち、笑顔で終えることができました。今回が最後の建学祭であることが惜しいですが、残りの学校生活をより充実した時間にさせる良い思い出になりました。

お知らせ

高校3年生特別講座開始

自ら学び、探究しようとする姿勢を大切に!!

期間 12月2日(土)～1月31日(水)

吹奏楽部 定期演奏会

中等部
(第15回)

日時: 2023年12月28日(木) 13:30開場 14:00開演
会場: 赤坂区民センター区民ホール(地下鉄赤坂見附駅下車、青山一丁目駅下車徒歩10分)
入場料: 無料(入場券事前配布・詳細は顧問 新井または吹奏楽部員まで)

高校
(第34回)

日時: 2024年1月6日(土) 17:00開場 18:00開演
2024年1月7日(日) 16:00開場 17:00開演
会場: ミューザ川崎シンフォニーホール
入場料: A席 2,500円 B席 2,000円 C席 1,500円(全席指定)

中等部 ダンス同好会が、11月1日付でダンス部に昇格しました。

行事予定

※予定が変更になる場合があります。1月は中等部入試、高校入試の出願受付が始まります。詳しくは本校HPをご覧ください。

December 12月

January 1月

- 1日(金) 校外活動(中等部)
中間試験(高1・2) 卒業試験(高3)
付属試験合格発表(高3)
- 2日(土) 東海大学湘南校舎見学研修会(保護者対象)
特別講座開始(高3)
- 3日(日) 学校説明見学会⑥(高校)
- 4日(月) 朝礼・短縮授業
- 7日(木) 答案返却日(高3)
- 9日(土) GTEC受検日②(高校) 3時限授業(4時間目カット)(中等部)
東海カルチャーセミナー(13:00～)
後援会委員総会③(15:30～)
- 10日(日) 学校説明見学会⑤(中等部)
- 11日(月) 2時限授業 3時間目以降後期中間試験答案返却(高1・2、中等部)
- 12日(火) 校医相談日⑧
- 13日(水) 月曜日の授業日
- 15日(金) 高校入試相談(生徒自宅学習日)
- 16日(土) 高校入試相談(生徒自宅学習日)
付属推薦入学試験合格者説明会 オンライン(高3)
- 20日(水) 5・6時間目カット(12/16分)
- 23日(土) 冬期休暇前諸注意・大掃除(3・4時間目)
- 25日(月) 冬期講習(～27日)

- 1日(月) 元日
- 6日(土) 新春懇親会
- 8日(月) 成人の日
- 9日(火) 朝礼・短縮授業
月曜日の授業日
- 14日(日) 学校説明見学会⑥(中等部)
(プレテスト実施)
- 15日(月) 学年集会(高2)
- 16日(火) 校医相談日⑨
- 20日(土) 高校推薦入学試験準備(4時間目カット)
- 22日(月) 高校推薦入学試験(生徒自宅学習日)
- 23日(火) 高校推薦入学試験合否発表(Web発表)
- 24日(水) 特別時程(高校、中1・2:～26日)
卒業試験(中3:～26日)
- 26日(金) 漢字検定③
- 29日(月) 生徒による授業評価アンケート④
- 31日(水) 中等部入学試験準備
特別講座終了(高3)

編集後記

第4クール(10～12月期)のドラマは、聖夜のころにクライマックスを迎えるロマンチックな展開がお決まりですが、中でも異彩を放っているのが「パリピ孔明」(フジテレビ系)。中国の三国時代に天才軍師として活躍した諸葛孔明(向井理)がなぜか現代日本に転生し、ライブハウスでアルバイトをしながら歌手を目指している月見英子(上白石萌歌)のマネージャーになるという突飛な設定のコメディです。すべての登場人物が自分の夢を必死に追いかけ、ぜんぜん潔くないその姿を見ているとこちらまで胸が熱くなってしまうのです。(の)